

事業報告

1. 事業内容・定員

令和7年3月31日現在

利用者数総数215名(男性 161名・女性 54名)・・・児童系の登録者数を含む

平均年齢・・・各事業所参照

平均障がい支援区分・・・各事業所参照

職員

正規職員75名(男性 40名・女性 35名)

平均年齢38.9歳(男性 40.7歳・女性 36.9歳)

平均勤続年数9.4年(男性 10.6年・女性 8.0年)

パート職員85名(男性 17名・女性 68名)

平均年齢 55.3歳(男性 52.2歳・女性 56.0歳)

平均勤続年数8.2年(男性 6.0年・女性 8.6年)

2. 基本方針と総括(計画で記載したものの実績について報告)

今年度は、「ダイバーシティインクルージョンの実践」と「健康のための実践」を継続事案としました。コロナ感染症が5類に移行しましたが、引き続き感染対策とその学びに注力するとともに、健康増進、免疫力アップを実践し、社会情勢に合わせた事業運営を行ってきました。

下記、短期的な視点と目標について実績報告。

- ・ダイバーシティインクルージョンの推進 →中間的な就労の継続
- ・健康増進、感染対策(研修・啓発活動推進)→委員会活動による推進
- ・法人のブランディングの推進→ブランディングチームの創設
- ・組織力の強化・・・職員教育については研修チームにより、実施内容も充実しかなり定着してきました。ICT化については、今一步。現在支援ソフトの更新の検討中。
- ・BCPの周知・・・災害委員会を中心に進めてる。指定福祉避難所(ラポール)の行政との締結により、一層の充実を図ることができた。
- ・SDGsへの取り組み・・・少しマンネリ化してきているので、R7年度に向けて検討中。
- ・HP、パンフレットの更新・・・検討中。
- ・人事制度、給与・退職金規則類の見直し・・・処遇改善加算の活用で、給与規定と7年度からの正規職員の給与のスキームの見直しを行った。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

理事会・評議員会(R6. 6月、R6.12月、R7.3月)

入社式(R6.4.1)、ブルフェスタ(R6.11.9)

4. クラブ活動

事業所の活動参照

5. 職員研修

法人全体研修会(R7. 3. 28)、創立30周年に向けた委員会の始動

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

羽津地区まちづくり推進協議会の各種行事への参画、よっかいち徹夜踊りの祭典

福祉避難所の指定→2か所(垂坂山ブルーミングハウス、ラポールブルーミング)

ブルフェスタにて、外部団体(羽津まち協所属)を招致

各事業所にて社会福祉士資格取得・教育課程等による実習生受け入れ、ボランティア受け入れ

7. 防災及び感染症対策の実績について

委員会報告参照

8. 事業所独自の特記事項があればこちらに記載

令和8年度開始予定の、「児童発達支援事業所」(仮称ラポールキッズ→フィオーレ)として、

令和7年度三重県障がい児施設整備事業補助金の申請を実施、この5月に正式な内示を頂いた。

R7年3月31日現在 利用者数(男女別)

	男	女	合計	単位(名)
入所系				
垂坂山ブルーミングハウス	31	9	40	
つうきん(グループホーム)	9	9	18	
GH(グループホーム)	41	7	48	
居住計	81	25	106	
通所系				
かすみヶ浦ブルーミングハウス	16	8	24	
ブランチ スプリング	25	7	32	
ラポール ブルーミング	22	9	31	
通所事業所計	63	24	87	
児童				
コフレ児童発達支援	5	1	6	
コフレ放課後デイ	12	4	16	
児童計	17	5	22	
法人総合計	161	54	215	名

事業報告

1. 事業内容・定員

令和7年3月31日現在

利用者数総数(男性 名・女性 名)

平均年齢

平均障がい支援区分

事業別利用実績

年間延べ利用日数、

作業収入のある事業所は、取引先別の収入額 表形式で

令和6年度分

令和5年度分

2. 基本方針と総括(計画で記載したものの実績について報告)

基本方針

「健康寿命の延伸に努める」

- ・法人利用者に対するリハビリ活動を継続、発展に努める。
 - ・支援員等他職種と協働し、身体・生活機能の維持・向上に努める。
- ##### 「リハビリ活動を行う知的障害者施設としてのモデルケースを目指す」
- ・リハビリ活動内容やデータを取りまとめて、研修会等々にて報告する。

総括

- ・心身に配慮が必要な職員(理学療法士パート)に対して、随時面談(ケア)を継続したが元々の病状もあり就業を継続することができず退職となった。
- ・もう一人のパート職員(西支援員)と PT 伊藤の 2 名体制となったことで、新たな試みや新規のリハ加算取得者を加えることができず。それでも、法人利用者の高齢化により身体的な重度化が顕在化するなか、既存のリハ加算取得者に対するリハ対応は継続できた。パート西支援員の働きに大きく助けられた。
- ・リハビリに関する勉強会は年 5 回ほど実施。また、パート西支援員とともに CareTex(介護福祉用具展示会)に参加。

2)

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

4. クラブ活動

5. 職員研修

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

7. 防災及び感染症対策の実績について

8. 事業所独自の特記事項があればこちらに記載

令和6年度 給食部

事業報告

1. 事業内容

垂坂山ブルーミングハウス、通勤寮、GH、かすみヶ浦ブルーミングハウス、ブランチスプリング、ラポール利用者への食事提供及び垂坂山ブルーミングハウス入所者への栄養ケアマネジメント実施。

年間食数:103,712 食

1日あたり平均 284 食(朝食:93 食、昼食 96 食、夕食 95 食)

栄養ケアマネジメント対象者:41 名

2. 基本方針と総括

(基本方針)

個人の身体機能に合わせた食べやすくおいしい食事の提供を目指し、利用者の健康増進を支援する。また、厨房職員全員が食事提供者との自覚をもち、安全・安心な食事提供のために衛生管理の徹底に努める。互いにあいさつをする。

(総括)

正規職員が産休と退職により 2 名減ったが、完全調理品などを活用することで調理や下処理の手間を削減し、行事食や特別なデザートなど例年通り実施することができた。非常時の対応については厨房パート職員への周知が課題となった。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

行事食・特別食のポスターを 35 回分掲示

4. 職員研修

衛生管理(感染対応含む)・災害対策・虐待防止の研修やグループワークを年間 10 回実施

5. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

羽津子供食堂「&ゆう」 場所:大宮町、さろん de 志氏我野 年間のべ 36 名参加

6. 防災及び感染症対策の実績について

11月に電気が使えない想定で非常食訓練を実施。非常食の受け取りから調理まで通所と垂坂の支援員のみで実施。令和7年度は通勤、GHの支援員が訓練予定。

事業報告

1. 委員会の事業内容、構成員の人数等

令和7年3月31日現在

ワーキンググループ 4名（委員長 1名 統括1名 主任2名）
各事業所より1名ずつ

2. 基本方針と総括(計画で記載したものの実績について報告)

【虐待防止・身体拘束適正化委員会活動目的】

- ・虐待防止・身体拘束廃止に向けた指針確認・研修等（事例・小さな出来事を通し）を行い、自分たちの支援を見直すきっかけをつくる。
- ・事例をとおり「虐待」だけに目がいくのではなく、「虐待」が行われた「背景」や「理由」にも意識し、全体を見回した「虐待防止」に取り組めるようになる。

（令和6年度、実際通報のあった「利用者に対する言葉遣い」の検討、県で行われた虐待防止権利擁護研修の事例検討等をもとにグループワークをおこなっていく。

そして各事業所でもそれぞれ研修（「伝え方」「アンガーマネジメント」など）を行い、年度末、委員会で共有し、今年度の研修計画にも盛り込んでいく。

令和6年度通報件数：3件 あり、当該職員に聞きとり、県等へ相談という形で連絡を入れているが、それで終わりとなっており、当該職員へのフォローまでできていなかったため、今年度はそれらも意識していく）

- ・やむを得ず身体拘束をさせてもらっている利用者の拘束の見直し・検討。やむを得ず身体拘束を行うときの同意書・記録・会議の統一を図る。

（毎回会議ごとに身体拘束？と思われる支援について挙げてもらい、対応・今後の対応等も挙げています。身体拘束を行う利用者については同意書、記録、会議を行い、会議でも報告を行う。各事業所、利用者の行為を制止する際、やむを得ず止めさせてもらう場面もあり、今後、同意書・記録等の周知は引き続き行っていきます）

- ・定期的に第三者委員にも活動内容を報告し、活動内容の確認、意見等をもらい、更なる発展につなげていく。

（報告件数：3件 第三者委員でもある 氏にお伝えし、コメントをいただいている。

3. 年間委員会の活動(会議の頻度・回数、取り組んだ事業)実績

年 4 回 開催

6 月:虐待防止マニュアル 身体拘束適正化の指針 報告
身体拘束 ケース会議

9 月:通報のあった「利用者に対する言葉遣い」の検討
身体拘束 ケース会議

12 月:「利用者に対する言葉遣い」の検討
身体拘束 ケース会議
県で行われた事例をもとにグループワーク

3 月:事業計画報告
各事業所で行われた虐待防止研修の報告・意見交換
身体拘束 ケース会議

4. 委員会独自の特記事項があればこちらに記載

- ・通報件数:3 件 利用者に対する注意の仕方がきつくなる:3 件
- ・外部研修:3 月 他事業所(和順学園)の虐待防止委員会とミーティング
(虐待防止委員会の実際の活動
通報のライン
虐待防止の研修 など)

事業報告

1. 委員会の事業内容、構成員の人数等

令和7年3月31日現在

事業内容:感染症委員会の運営及び法人感染症対策の推進

構成員:委員長1名、事務局1名、委員8名

2. 基本方針と総括

基本方針:

【感染委員会活動の活発化促進】

・委員会開催が年4回と定められることとなったため、学習の場、共有の場、報告の場としての委員会を、着実に実施し、各委員が各事業所で行なう感染対策行動に繋がるよう活動を促進していく。

【感染対策マニュアル、新興感染症 BCP の見直し】

・新型コロナウイルスの対応方法の変化に伴い、日頃の感染対策に則したマニュアルとするため、各委員で各事業所でマニュアルの見直し修正の実施を促していく。また、令和6年度4月より義務化とされた新興感染症 BCP の見直しを本年度から始め、年度末までに計画の修正を各事業所ごとに実施していく。

総括:

各事業所ごとに、研修計画の立案、結果の報告を共有していくことの法人としての業務化を実行することができ、基本的な感染対策行動が現場で行われていることを確認することができている。一方で、すでに委員会活動が形骸化しており、新興感染症流行に対する対策の経験のない部署においては伝達研修もままならない部署がでていた。一方で、経験のある部署は対応策が洗練化されており、手順書や引き継ぎ書のブラッシュアップが報告された。実際に、R6年度中の新型コロナ、インフルエンザについてはクラスターを発生させずに終息させてるケースもみられた。

3. 年間委員会の活動(会議の頻度・回数、取り組んだ事業)実績

会議回数4回/年 グループワーク、感染症研修

4. 委員会独自の特記事項があればこちらに記載

事業報告

1. 委員会の事業内容、構成員の人数等

令和7年3月31日現在

事業内容:安全衛生委員会の運営

構成員:産業医 1 名、委員長1名、事務局1名、委員2名

2. 基本方針と総括

1. 基本方針

【委員会活動の実施】

多職種での意見交換および有識者からの助言を得る機会を設けたうえで、法人内の安全衛生に関わる事項について取り組みを行う。

結果:毎月1回委員会活動を実施。長期休業者に対する対応の検討、及び復帰に向けた産業医面談の調整を行なった。労働災害についても産業医および各委員で共有、検討し、事故の再発防止に努めた。

3. 年間委員会の活動(会議の頻度・回数、取り組んだ事業)実績

会議回数1回/月 各事業所ラウンド

4. 委員会独自の特記事項があればこちらに記載

事業報告

1. 委員会の事業内容、構成員の人数等

令和7年3月31日現在

事業内容:安全衛生委員会の運営

構成員:委員長1名、事務局1名、委員8名

2. 基本方針と総括

【BCP策定、研修、訓練の実施】

令和6年度前期 策定したBCPに関する研修の実施

令和6年度中期 BCPに準拠した訓練の実施

令和6年度後期 BCP研修及び訓練を通じた振り返り、計画の見直しの実施

上記、計画に沿って、令和6年度のBCPのPDCAサイクルを実行する。

【災害委員会の設置】

令和6年6月にて令和6年度災害委員会を開催し、災害委員の役割の説明、本年度の活動方針を説明する。

総括:

BCPに基づいて、各事業所ごとに実践的な災害対策行動計画を検討し直していただき、法定基準に沿った避難訓練を実施して頂いた。また、四日市社協と協働し、羽津自主防災会、羽津医療センター、桜コミュニティ、富田浜福祉会、参画のもと指定福祉避難所設置訓練を行った。

4. 委員会独自の特記事項があればこちらに記載

事業報告

1. 事業内容・定員（障害者支援施設【生活介護・施設入所支援】）

令和7年3月31日現在

利用者数総数(男性31名・女性9名)

平均年齢 50歳

平均障がい支援区分 5.6

事業別利用実績 生活介護・施設入所支援 38.9人

短期入所・日中一時 1.9人

年間延べ利用日数 生活介護・施設入所支援 10,451日

短期入所・日中一時 705日

2. 基本方針と総括

基本方針 「QOLの向上を目指す」「当事者意識を持つ」

総括：

- ・班会議は毎月実施した。課題を持ち合って話し合う場を設けた。イベントも久々のグループ別外出を行った。年13回のイベントを実施した。
- ・行動障害の方に対する相談支援センターあさけの松本氏による集中的支援加算や豊田市社会福祉事業団の方との連携を行った。
- ・アニマルセラピーを1回実施した。
- ・日誌を見直した。ヒヤリハットの職員会議での議論の仕方を見直した。
- ・新規入所者は3名 退所者は死亡により2名
- ・外部研修は、希望の研修にほとんどの方に行って頂いた。

3. 年間行事(旅行、外出等)・クラブ活動実績・職員研修

別紙参照(クラブ活動はマラソン部を実施)

4. クラブ活動

マラソン部年11回実施

5. 職員研修

別紙参照

5. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

- ・羽津中学校に講師派遣
- ・能登応援 4名の職員を派遣
- ・よんてつや額づき山へのボランティア派遣
- ・農芸高校 3名

6. 防災及び感染症対策の実績について

- ・原因不明の集団風邪が冬に施設内で流行した。
- ・感染症ミーティングは、5回ほど行った。ゾーニング勉強会・趣味レーション・発熱者陽性者フォーマットの実施及び見直しを実施。
- ・防災訓練は3回実施。

日程	行事名	実績	備考
4月	自治会交流会	今年度の自治会の決定(施設内風邪が流行りカラオケ)	4月20日
	サークル	散歩	4月15日
	サークル	カラオケ	4月22日
5月	自治会交流会	話し合い、行事決め	5月18日
	サークル	運動(散歩)	5月11日
	サークル	DVD鑑賞	5月27日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	5月12日
6月	自治会交流会	利用者希望行事(カラオケ)	6月24日
	サークル	カラオケ	6月1日
	サークル	壁新聞作り(春)	6月29日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	6月15日
	おやつ作り	フルーチェ	6月25日
7月	自治会交流会	ご利用者希望行事聞き取り(カラオケ)	7月22日
	サークル	ご利用者希望行事聞き取り(散歩)	7月13日
	サークル	音楽・楽器演奏	7月29日
	スポレク代替行事	玉入れ、フリスビー、図形ゲーム、グランドゴルフ、ビンゴ大会	7月25日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	7月6日
8月	自治会交流会	カラオケ	8月17日
	サークル	DVD鑑賞	8月3日
	サークル	運動(体操)	8月31日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	8月3日
	グループ別食事 3人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	8月22日
	グループ別食事 3人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	8月26日
夏祭り	タコ焼きやお面作り、カステラ、かき氷、ゲーム等	8月30日	
9月	自治会交流会	散歩	9月23日
	サークル	DVD鑑賞	9月7日
	サークル	壁新聞作り(夏)	9月28日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	9月21日
	グループ別食事 4人	電車旅行	9月19日
	グループ別外出 4人	水族館	9月24日
	グループ別外出 4人	東山動物園	9月27日
意思決定支援	普段食べないおやつを食べてみよう	9月20日	
10月	自治会交流会	ハロウィの飾りを作り	10月19日
	サークル	カラオケ	10月7日
	サークル	ハロウィン飾りつけ	10月29日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	10月19日
	グループ別外出 2人	食事会	10月15日
	グループ別外出 1人	食事会	10月16日
	グループ別外出 4人	食事会	10月22日
	グループ別外出 5人	水族館	10月23日
	グループ別外出 1人	食事会	10月29日
	グループ別外出 4人	東山動物園	10月30日
ハロウィンイベント	お化けに変装し写真撮影&お菓子	10月25日	
11月	自治会交流会	散歩とカラオケで参加した方	11月4日
	サークル	音楽・楽器演奏	11月11日
	サークル	散歩	11月25日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	11月2日
	グループ別外出 3人	電車旅行	11月5日
	グループ別外出 3人	食事会	11月12日
	グループ別外出 2人	食事会	11月14日
	グループ別外出 1人	食事会	11月19日
	グループ別外出 1人	食事会	11月20日
	おやつ作り	食パンで作るクリームドーナツ	11月26日
12月	自治会交流会	クリスマス飾りつけ	12月14日
	サークル	カラオケ	12月7日
	サークル	壁新聞作り(秋)	12月21日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	12月7日
	グループ別食事 4人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	12月5日
	グループ別食事 4人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	12月12日

	クリスマス会	ビンゴ大会、クリスマスケーキ	12月20日
1月	自治会交流会	カラオケ	1月13日
	サークル	書初め	1月11日
	サークル	DVD鑑賞	1月18日
	サークル	散歩	1月25日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	1月19日
	グループ別食事 5人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	1月10日
	グループ別食事 4人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	1月30日
	グループ別食事 3人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	1月31日
	初詣	近くの神社に初詣	1月1日2E
2月	サークル	卓球	2月11日
	自治会交流会	散歩	2月24日
	おやつ作り	ロールケーキで作る鬼(節分)	2月3日
	意思決定支援	普段食べないおやつを食べてみよう	2月17日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	2月15日
	グループ別食事会 3人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	2月13日
	グループ別食事会 4人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	2月20日
	グループ別食事会 3人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	2月28日
	寄付おやつ食事会	弁当しげよしとシャトレーゼふんわり卵の厚切りロール	2月26日
3月	自治会交流会	来年度役員選出	3月20日
	サークル	カラオケ	3月1日
	サークル	壁新聞作り(冬)	3月15日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	3月15日
	ウォーキングスタンプラリー	伊坂ダム	3月6日
	花見	お弁当を持って垂坂公園	3月26日

令和6年度 職員研修実施記録 (外部)

日時	研修内容	参加者
4/1~5	能登半島地震にかかる介護職員等対応派遣	
4/11~12	新入社員セミナー	
4/15~19	能登半島地震にかかる介護職員等対応派遣	
4/24	強度行動障害者支援者養成研修	
5/9、30	三知協研修委員会	
5/11~15	能登半島地震にかかる介護職員等対応派遣	
5/14	第一回利用者等交流事業スタッフ委員会	
5/25	フライングディスク大会	
5/30	新任職員等研修会	
5/31~6/4	能登半島地震にかかる介護職員等対応派遣	
6/4~9	能登半島地震にかかる介護職員等対応派遣	
6/5	龍谷大学訪問	
6/18	三重県サビ児管 実践研修	
6/20	応急手当普及員再講習	
6/25	三重県サビ児管 実践研修	
7/3	第一回モルック大会実行委員会	
7/3	凜生園・りんてらす 施設見学	
7/5	意思決定支援~コミュニケーション技術向上を目指して	
7/7	fukushi meets 就職フェア	
7/17~18	キャリアパス対応生涯研修課程「初任者コース」	
7/30	アサーティブコミュニケーション	
8/9	企業の魅力発見フェア in三重	
9/4	新入社員フォローアップセミナー	
9/11	介護におけるノーリフトケア研修会	
9/13	三重県障がい者虐待防止・権利擁護研修(共通)	
9/30	東海地区職員研究協議会実行委員会	
10/3・4	全国職員研究大会	
10/16・17	福祉職員キャリアパス対応生涯研修	
10/8	京都総合福祉協会「コスモス」・京都老人福祉協会 見学	
10/8	報連相ブラッシュアップセミナー	
10/10・11	しらさぎ園 実習	
10/12	第27回三重県障害者スポーツ大会「陸上競技」	
10/15	第3回モルック大会実行委員会 講習会	
10/17	三知協研修会	
10/29	金沢 佛子園 見学	
10/29	聖母の家 あゆみ寮 見学	
10/29	東海地区職員研究協議会実行委員会	
11/1	三知協 第3回モルック大会	
11/1~4	令和6年能登半島地震にかかる介護職員等応援派遣 事業	
11/6・7	東海地区職員研修大会	
11/8~12	令和6年能登半島地震にかかる介護職員等応援派遣 事業	
12/9	豊田市社会福祉事業団実習 強度行動障害支援 施設 見学	
12/19	第12回 障害者支援施設全国大会	
1/23	第4回利用者等交流委員会	
1/28	四日市商工会議所 人事採用担当者向けセミナー	
2/6~10	令和6年能登半島地震にかかる介護職員等応援派遣 事業	
2/12	東海地区 スタッフ委員会	
2/17	三知協 令和6年度障害者虐待防止研修	
2/26	fukushi meets 就職フェア 名古屋	
3/5	消防訓練研修会	
3/6	全国部会・スタッフ協議会	
3/10	みえU・Iインターンシップ成果報告会	
3/13	福祉・介護業界就職セミナー	

令和6年度 職員研修実施記録 (内部)

日時	研修内容	参加者
5/16	災害対策委員会研修 「災害委員会避難訓練実施におけるBCP研修」	
6/19	虐待防止・身体拘束研修 「指針説明」	
6/19	強度行動障がい研修	
6/28	新人向け防災講義	
7/31	感染対策研修 「法人全体感染委員報告手洗い、消毒方法のレクチャー」	
8/21	介護技術研修 「オムツの交換方法」	
9/17	人権研修	
9/17	虐待防止・身体拘束研修 「言葉遣いについて」ワーキンググループ研修	
9/24	人権に配慮した利用者との関わりについて	
10/25	感染対策研修 「法人全体感染委員報告嘔吐物処理 研修」	
10/25	AED・救急対応研修	

日時	研修内容	参加者
11/26	法人理念研修	
11/26	虐待防止・身体拘束研修 「虐待や身体拘束等、不適切と捉えられかねない事案について」	
11/29	世界の見え方について・レクリエーション	
12/17	虐待・身体拘束研修 前回出し合った不適切と捉えられかねない事案の中から「衣類に関して」と「利用者さんへの言葉遣いや呼び方」についてピックアップしてグループワークを行う。	
1/27	虐待・身体拘束研修 「利用者さんへの声掛け」についてのロールプレイ研修	
1/22	フォローアップ研修	
2/21	次年度事業計画案について・今年度事業計画振り返り グループワークを行う	
3/25	虐待防止兼身体拘束委員報告・総括	

日程	行事名	実績	備考
4月	自治会交流会	今年度の自治会行事の決定	4月20日
	サークル	散歩	4月15日
	サークル	カラオケ	4月22日
5月	自治会交流会	話し合い、行事決め	5月18日
	サークル	運動(散歩)	5月11日
	サークル	DVD鑑賞	5月27日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	5月12日
6月	自治会交流会	利用者希望行事	6月24日
	サークル	カラオケ	6月1日
	サークル	壁新聞作り(春)	6月29日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	6月15日
	おやつ作り	フルーチェ	6月25日
7月	自治会交流会	ご利用者希望行事聞き取り	7月22日
	サークル	ご利用者希望行事聞き取り	7月13日
	サークル	音楽・楽器演奏	7月29日
	スポレク代替行事	玉入れ、frisbee、図形ゲーム、グランドゴルフ、ビンゴ大会	7月25日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	7月6日
8月	自治会交流会	カラオケ	8月17日
	サークル	DVD鑑賞	8月3日
	サークル	運動(体操)	8月31日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	8月3日
	グループ別食事 3人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	8月22日
	グループ別食事 3人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	8月26日
夏祭り	タコ焼きやお面作り、カステラ、かき氷、ゲーム等	8月30日	
9月	自治会交流会	散歩	9月23日
	サークル	DVD鑑賞	9月7日
	サークル	壁新聞作り(夏)	9月28日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	9月21日
	グループ別食事 4人	電車旅行	9月19日
	グループ別外出 4人	水族館	9月24日
	グループ別外出 4人	東山動物園	9月27日
意思決定支援	普段食べないおやつを食べてみよう	9月20日	
10月	自治会交流会	ハロウィの飾りを作り	10月19日
	サークル	カラオケ	10月7日
	サークル	ハロウィン飾りつけ	10月29日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	10月19日
	グループ別外出 2人	食事会	10月15日
	グループ別外出 1人	食事会	10月16日
	グループ別外出 4人	食事会	10月22日
	グループ別外出 5人	水族館	10月23日
	グループ別外出 1人	食事会	10月29日
	グループ別外出 4人	東山動物園	10月30日
ハロウィンイベント	お化けに変装し写真撮影&お菓子	10月25日	
11月	自治会交流会	散歩とカラオケで参加した方	11月4日
	サークル	音楽・楽器演奏	11月11日
	サークル	散歩	11月25日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	11月2日
	グループ別外出 3人	電車旅行	11月5日
	グループ別外出 3人	食事会	11月12日
	グループ別外出 2人	食事会	11月14日
	グループ別外出 1人	食事会	11月19日
グループ別外出 1人	食事会	11月20日	
おやつ作り	食パンで作るクリームドーナツ	11月26日	
12月	自治会交流会	クリスマス飾りつけ	12月14日
	サークル	カラオケ	12月7日
	サークル	壁新聞作り(秋)	12月21日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	12月7日
	グループ別食事 4人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	12月5日
グループ別食事 4人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	12月12日	

	クリスマス会	ビンゴ大会、クリスマスケーキ	12月20日
1月	自治会交流会	カラオケ	1月13日
	サークル	書初め	1月11日
	サークル	DVD鑑賞	1月18日
	サークル	散歩	1月25日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	1月19日
	グループ別食事 5人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	1月10日
	グループ別食事 4人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	1月30日
	グループ別食事 3人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	1月31日
	初詣	近くの神社に初詣	1月1日2日
2月	サークル	卓球	2月11日
	自治会交流会	散歩	2月24日
	おやつ作り	ロールケーキで作る鬼(節分)	2月3日
	意思決定支援	普段食べないおやつを食べてみよう	2月17日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	2月15日
	グループ別食事会 3人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	2月13日
	グループ別食事会 4人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	2月20日
	グループ別食事会 3人	施設内でテイクアウトの食事を提供。	2月28日
	寄付おやつ食事会	弁当しげよしとシャトレゼふんわり卵の厚切りロール	2月26日
3月	自治会交流会	来年度役員選出	3月20日
	サークル	カラオケ	3月1日
	サークル	壁新聞作り(冬)	3月15日
	マラソン部練習会	活動時間13:00~17:00	3月15日
	ウォーキングスタンプラリー	伊坂ダム	3月6日
	花見	お弁当を持って垂坂公園	3月26日

事業計画 外出・余暇

- ・日帰り旅行を実現できるか検討する。
- ・ブルフェスタを開催するか検討する。
- ・グループ別外出を実施するか検討する。

まとめ

- ・5年ぶりにグループ別外出を実施しました。皆さんとても喜んでいました。
- ・グループ別食事会1人2回 実施しました。

芸術作品

- ・津白山で開催、遠方の為 職員で作品を搬入出しました。 12月
- ・障害者芸術世界展(仙 3月

スポレク代替

- ・施設内にてゲームやビン 大会を実施しました。 7月

おやつ作り

事業報告

1. 事業内容・定員(令和7年3月31日現在)

【共同生活援助】

G&C ホームブルーミング

利用者数総数(男性 41名・女性 7名 計48名 定員:57名)

平均年齢 53歳

平均障がい支援区分 4.2

年間延べ利用人数 16,703人

G&C ホームつうきん

利用者数総数(男性 9名・女性 9名 計18名 定員:20名)

平均年齢 57歳

平均障がい支援区分 4.8

年間延べ利用人数 6,587人

【短期入所】

利用者数(男性 8名・女性 6名 計14名)

平均年齢 36歳

平均障がい支援区分 4.1

年間延べ利用人数 675人

2. 基本方針と総括

*笑顔のあるホームをつくろう

*みんなの夢をかなえよう

*人生を楽しもう

今年度は、3名が退所、1名が入所。利用者さんの高齢化に伴い、転倒や身体機能低下により、入所施設や介護保険施設へ移行された。医療・健康面へのフォローは、「早期の対応」を目標とし、看護師を中心に支援者と情報共有を行い進めることができた。次年度に向けて、高齢になる利用者さんへの対応として、生活環境の整備と、介護保険施設・ケアマネージャー・後見人など、必要となるサービスや制度の知識を更に深めること、ネットワークの構築が重要であり、研修や施設見学などの取り組みが、より一層求められる。

支援体制については、休日(日曜日)に出勤者を配置することで、急な体調不良やトラブルに対応できる体制を整備。祝日等についても、日中に対応できる体制と、職員間で相談しやすい環境作りを次年度も継続して進めていく。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

ワールドサーカス鑑賞・音楽会鑑賞(5月)、ボーリング大会(8月)
夏祭り・花火・バーベキュー(8月)、ハロウィン(10月)、クリスマス(12月)
初詣(1月)、日帰り旅行【10月 名古屋港(ホーム) 2月 明治村(つうきん)】
誕生日外食(3回/年)、デリバリー(1回/月) 等

4. クラブ活動

マラソクラブ(9名) 犬のおやつ(11名) 1回/月
ウォーキング(8名) スポーツ(8名) 音楽(11名) 1回/3ヶ月

5. 職員研修

*令和6年度 G&C ホームブルーミング/つうきん 研修計画 参照
*差別解消法、誤嚥予防と誤嚥性肺炎、栄養管理、虐待防止、感染症、介護保険
全国知的障害福祉関係職員研究大会、全国グループホーム等研修会 等

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

*地区防災(避難訓練)、地区行事への利用者さん、職員の参加
*学生ボランティア、外部ボランティアの事業所内イベント等への参加
*社会福祉士の実習生受け入れ

7. 防災及び感染症対策の実績について

*定例の避難訓練(7月、3月)実施。チェックリストを用いて、避難完了までの行動を確認。非常用持ち出し袋の内容確認、入替を実施。
*感染対策は、コロナ対応が年間通して数回あったが、大半は単独・ユニット内で終息。
1件のみ保健所へ報告(1週間以内の累計で10名以上)
*消防による定例の立ち入り検査→スプリンクラー等、消防設備の設置が必要なホームがあり、年度後半から整備に向け対応を進めている。

8. 事業所独自の特記事項があればこちらに記載

*地域連携推進会議の開催(3月)

令和6年度 G&C ホームブルーミング/つうきん 研修計画

月	研 修 内 容	発 表 者 ・ 記 録 者
4月	今年度事業計画説明 感染対策①	
5月	感染対策② 虐待防止研修①	
6月	感染対策③ AED・救急対応 薬の研修 災害対策①	
7月	感染対策委員会報告 ※利用者向け研修あり 虐待防止研修②	
8月	感染対策④（感染BCPについて） 災害対策②	
9月 ケース会議	第三者評価 前期自己評価	
10月	事業計画達成度合い振り返り 感染対策⑤ 虐待防止研修③ 介護保険について 介護技術について① 災害対策③	
11月	介護技術②（移乗・おむつ交換）	
12月	感染対策委員会報告・感染対策⑥ 感染対策⑦（利用者向け研修） 人権研修（意思決定支援）	
1月	災害対策④ 緊急時の対応・安全点検について（GH5）	
2月	今年度事業計画振り返りと次年度事業計画案について 虐待防止研修④	
3月 ケース会議	第三者評価 後期自己評価 感染対策⑧ 感染対策⑨ 成年後見制度 災害対策⑤	

事業報告

1. 事業内容・定員 就労継続 B 型(20 名) 生活介護(10 名)

令和7年3月31日現在

利用者数総数(男性 16 名・女性 8 名)

平均年齢 男性:50 歳 女性:40 全体:45 歳

平均障がい支援区分: 5(生活介護)

事業別利用実績

年間延べ利用日数:258 日

年間延べ利用人数:就労継続 B 型:3,684 日 生活介護:2,082 日

平均利用人数:就労継続 B 型:13.95 人 生活介護:7.89 人

作業工賃売上・平均工賃実績

	ワニス作業	箱作業	東洋	ポストイ ング	計	平均工賃	
						就労継続 B 型	生活介護
令和 6 年度	4,953,153	1,193,375	68,550	64,021	6,279,099	21,361	19,980
令和 5 年度	3,636,430	1,289,950	24,150	0	4,950,530	20,340	18,474
差	1,316,723	-96,575	44,400	64,021	1,328,569	1,021	1,506

2. 基本方針と総括

<基本方針> 親切・丁寧な支援の実現に向け、全員で高い意識を持つ

【総括】

年度前半は職員体制・業務全般において安定して行うことができたが、年末に 2 名の退職希望者があり、内一人は主任・サビ管であった為、引き継等も含め業務整理に追われた。

研修については Web 研修を活用して全体で幅広く受講でき、三知協研修委員の派遣や法人内の各委員会からの伝達研修を実施し、例年に比べ非常に充実したものとなった。

新規利用者の獲得については 1 名の利用に留まり、事業所の情報発信については課題が残った。利用者の出勤率は前年度(86.3%)とほぼ変わらずであったので、来年度も欠勤傾向にある方についてのアプローチは継続していく。

作業売上・平均工賃・出勤率等の数値を可視化して共有を行った。

防災・行事については、事業計画の記載通り実施した。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

- ★ボウリング大会
- ★バス旅行
- ★グループ外出(阿倉川カフェ利用)
- ★モルック大会参加
- ★土曜開所日:2回/月(午後 レクリエーション)

4. クラブ活動

実績なし

5. 職員研修

<外部>

- ★新任職員研修(三知協)
- ★新入社員セミナー・フォローアップセミナー
- ★東海地区職員研究大会(三知協)
- ★強度行動障害養成研修(基礎・実践)
- ★障害者差別解消法説明会(WEB)
- ★食中毒・感染症予防講習会(WEB)
- ★就労・日中活動サービスの支援(WEB)
- ★自閉症発達障害研修会(WEB)
- ★職場内研修の進め方(WEB)
- ★三重県障害者虐待防止・権利擁護研修会(WEB)

<法人内>

- ★階層別フォローアップ研修
- ★虐待防止・災害・感染症伝達研修

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

実績なし

7. 防災及び感染症対策の実績について

定期避難訓練(10月・3月) 避難確保計画訓練(9月)

令和6年度

ブランチスプリング

事業報告

1. 事業内容・定員(令和7年3月31日現在)

事業:就労継続支援 B 型(定員20)、生活介護事業(定員20)

利用者数総数:32名(男性 25 名・女性 7 名)

平均年齢 42.5歳

平均障がい支援区分 4.2

事業別利用実績:月平均:就労継続支援 B 型-15.7人 生活介護-17.9人

年間延べ利用日数:就労継続支援 B 型-188日 生活介護-215日

作業収入

トランス組立の受注量が大きく下がったこと、ヤマト DM 作業がヤマト運輸業務廃止により無くなり減収の原因となった。ダンボール仕切組立作業は増えた。

令和6年度分(円)

レンタカー洗車、オゾン消臭	トランス組立	紙管作業	ダンボール仕切組立	ヤマト DM 便	カレンダー組、チラシ折込	自主製品(縫い物)	パン工房	合計
0	5,080,323	2,704,680	1,423,309		168,740	21,600	25,850,265	35,248,917

令和5年度分(円)

レンタカー洗車、オゾン消臭	トランス組立	紙管作業	ダンボール仕切組立	ヤマト DM 便	カレンダー組、チラシ折込	自主製品(縫い物)	パン工房	合計
15,000	7,177,518	2,983,424	999,506	242,635	148,390	15,004	26,188,255	37,761,732

2. 基本方針と総括

個々に合った安心して過ごせる活動作りを基本方針に掲げて作業場の環境作りや支援者のスキルアップへの取り組みを行ってきた。細かな環境整備や法人全体の委員会を通じた研修などを実施。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

4月	お花見	10月	
5月	阿倉川 S.S でのティータイム	11月	
6月	紙コップロケット作り	12月	スノードーム作り
7月	七夕飾り作り	1月	習字、絵馬作り

8月	うちわ作、プチ夏祭り	2月	バレンタインチョコ作り
9月	よんてつ見学	3月	ハンドスピナー作り、日帰り旅行(なばなの里)

4. 職員研修

感染対策研修、BCP 研修、虐待防止・身体拘束研修、冊子「良い支援をしよう」研修、災害対策研修、意思決定支援研修、三重県知的障害者福祉協会主研修

5. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

聖母の家学園職場実習受け入れ(2名)、にじ学園職場実習受け入れ(2名)、聖母の家学園見学受け入れ(10名)、にじ学園見学受け入れ(2名)

6. 防災及び感染症対策の実績について

避難訓練(2回)、BCP 研修(2回)、感染対策研修(3回)

7. 事業所独自の特記事項があればこちらに記載

・省エネルギー投資促進支援事業補助金を活用し老朽化したエアコンの入れ替え工事を実施(7月)

事業報告

1. 事業内容・定員 : 就労継続 B 型・生活介護 * 定員はランチ本部参照

令和7年3月31日現在 * 数値は阿倉川 SS のみの実績

利用者数総数(男性 4 名・女性 2 名)

平均年齢 男性:54 歳 女性:23 歳 全体:38 歳

平均障がい支援区分:5

事業別利用実績

年間延べ利用日数:258 日

年間延べ利用人数:就労継続 B 型(575 日) 生活介護(753 日)

出席率:72.1%

出席率:94.4%

阿倉川 SS 作業売上実績

	燃料油 (KL)	灯油配達 (KL)	洗車(円)	カフェ(円)	来店者数 (人)
令和 6 年	538	17.2	2,176,789	6,481,562	26,738
令和 5 年	635	18.6	2,139,539	7,592,555	31,430
差	-97	-1.4	37,250	-1,110,993	-4,692

2. 基本方針と総括

基本方針【支援力・営業力を磨き、魅力ある商品を消費者へ】

<総括>

前年度と比較し売上が大きく減少している。その原因として電気自動車の普及、暖冬、同業他店との競合が挙げられる。年度途中にカフェ職員 2 名が異動となり臨時休業が増えて売上に大きく影響した。

セルフスタンドではあるが地域に密着した店舗営業をしていることで、機械操作が苦手な高齢者等の給油弱者にとっての受け皿になっており、他店との差別化を図ることができた。

利用者支援、店舗営業、新商品の開発等、全般的に経験・知識・人材が不足している。新規利用者の獲得においても県内でも例を見ない事業である為、見学者はあるものの利用に至っていない。店内スペースに限りがある為、事業所外の作業も含めて検討の必要であるが、何より人材育成・確保・定着が大きな課題となった。

その他、売上等の数値を可視化して目標達成による意識付けを行った。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

- ★ボウリング大会
- ★日帰り旅行(おかげ横丁)
- ★土曜稼働日のレクリエーション

4. クラブ活動

利用者ミーティング・茶話会

5. 職員研修

- ★AED 研修(全職員)
- ★虐待防止研修(三知協主催)
- ★法人内委員会伝達研修(虐待・災害・感染症)
- ★強度行動障害養成研修基礎(WEB)
- ★職員研修交流会(三知協主催)
- ★四日市市防火協会研修

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

- ★ 駅前周辺清掃(週 1 回程度)
- ★ 地域中学校の職場体験受入れ(羽津中学校より 2 名)

7. 防災及び感染症対策の実績について

- ★発電機稼働訓練
- ★法人感染症委員からの伝達研修

令和6年度 ラポール ブルーミング(生活介護事業所)事業報告

1. 事業内容・定員

令和7年3月31日現在 31名

利用者数総数(男性 22名・女性 9名)

平均年齢 53歳

平均障がい支援区分 5

事業別利用実績 平均利用者数 27.5人/月

年間延べ利用日数 258日

取引先別の収入額

利用者の重度化・高齢化のため、作業収入の縮小化を図ったため、作業収入は減少しているが、店頭やイベント等で販売は実績を上げている。

令和6年度

タイエイクト	オーケック	垂坂公園清掃	内職sun	四日市印刷	S-QREST	犬のおやつ	みたき総合病院	店頭・販売	合計
802,713	104,040	1,034,000	132,570	180,745	114,480	24,050	325,000	415,840	3,133,438

令和5年度分

タイエイクト	オーケック	垂坂公園清掃	内職sun	四日市印刷	S-QREST	犬のおやつ	みたき総合病院	店頭・販売	合計
1,386,822	73,920	743,400	141,650	101,630	126,315	0	235,300	110,668	2,919,705

2. 基本方針と総括

ラポールを取り巻く環境を活用し、利用者とともに楽しめる「ラポールの売り」を見つけ、みんなで取り組んでいこう！という職員のパワーを源として、自主製品開発の一環として、『ラポールカフェ』をブルフェスタに合わせて始動した。映えスポットとして、グランドの整備も継続中。

定員も埋まり、日中一時利用者も多く受け入れ、土曜日の利用者が増加傾向となっている。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

4月	花見・たけのこ掘り・ミニバーベキュー	10月	獅子舞・ハロウィンパーティー
5月	万古祭り	11月	運動会・パン作り・モルック大会
6月	収穫祭(カレー)・スポレク	12月	虐待防止研修・クリスマス会
7月	ピザ作り・ラポール縁日	1月	新年会・お楽しみ会・収穫祭(大根汁)
8月	うちわ作り・風鈴作り	2月	プリン作り・壁新聞・○×ゲーム
9月	バーベキュー・日帰り旅行	3月	スコーン作り・額突山まつり

4. クラブ活動

モルック練習(11月モルック大会参加・準優勝)

手話練習(11月羽津地区文化祭で発表)

コーラス練習(額突山まつりにて発表)

5. 職員研修

以下以外に、虐待防止への取り組みとして「良い支援をしよう」研修を毎月実施

4月	5分研修・虐待防止・身体拘束廃止への取組・事業計画	10月	事業計画達成度振り返り
5月	5分研修・AED、救急対応	11月	感染症予防研修
6月	5分研修・事業、決算報告 第三者評価研修	12月	苦情解決研修
7月	5分研修・人権研修	1月	虐待防止・身体拘束廃止についての研修
8月	意思決定支援研修	2月	次年度事業計画・今年度振り返り
9月	第三者評価振り返り 花火大会	3月	第三者評価振り返り

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

○地域活動実績

たけのこ掘り・スポレク・羽津地区盆踊り・よんてつ・獅子舞・羽津地区秋祭り
羽津地区文化祭・羽津ふれあいバス旅行・羽津地区もちつき大会・額突山緑地祭り

○ボランティア受け入れ実績

北星高校より(1名)

○中間的就労受け入れ実績

北星高校より(1名)

○実習生受け入れ実績

羽津中学校より(3名) 富洲原中学校(2人) 西日野にじ学園より(3名) 聖母の家学園(1人)
高校生インターンシップ(3人) 新採用研修(3人)

7. 防災及び感染症対策の実績について

○防災対策実績

指定福祉避難所設置に向けての取り組み(BCP 訓練含む)
避難訓練(2回)・地震体験訓練(1回)・炊き出し訓練(3回)

○感染症防止対策

全体研修(1回)・感染対策委員より伝達研修(1回)

8. 事業所独自の特記事項

- ・ラポール全員で取り組める活動として、モルック大会に参加したり、コーラスを披露する場を作った。
- ・利用者の趣味や特技を活かした取り組みとして、ラポール玄関にて、物品販売(ビーズ作品・編み物・キーホルダー・アクセサリなど)をし、売上を本人に工賃として支給している。利用者の方々の「やる気」につながっている。
- ・地域の方々、他県からの見学者も年間を通して広く受け入れた。
- ・農耕作業で得た収穫物は利用者が販売活動をし、収穫祭にて全員でいただき、また、利用者が販売員となってラポールカフェにて販売を行った。

令和6年度

ブルーミング・コフレ

事業報告

1. 事業内容・定員 児童発達支援・放課後等デイサービス (定員 10名)

令和7年3月31日現在

利用者数総数 26名 (男性 20名・女性 6名)

・児童発達支援 幼稚園・保育園 年長 6名
(男児 5名・女児・1名)

・放課後等デイサービス 計 16名
(男児・12名・女児・4名)

高等部・・・2名 中学部・・・6名 小学部・・・8名

・日中一時 計 4名

(男性・3名(放課後等デイサービスも併用している利用児・2名) 女性・1名)

事業別利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数合計	放デイ	4	5	6	7	10	10	11	14	14	15	16	26名
	児発	0	0	0	0	0	0	2	2	3	4	6	
	日中一時					1	3	3	4	4	4	4	
利用実績	18	29	36	52	69	60	76	83	85	87	104	122	821名
欠席時対応加算	1	0	1	3	2	3	6	5	11	7	4	5	48名

年間延べ利用日数 :276日

2. 基本方針と総括(計画で記載したものの実績について報告)

- ・子どもたちが「ここにいてもいいんだ!」と思える場所をつくる
(「安心して来所されているか?」という部分で、環境であったり、周りの児童との関係であったり、まだ不安に感じている児童もいる)
- ・個人のペースに応じた成長を見守り、強みを活かしていく
(個人の力に応じて、できることを行っていたり、まだまだ強みを見つけれられていない方もおり、引き続き強みを見つけていく)
- ・児童の目線・親の視点から考えていけるように職員も成長していく
(ペアレントトレーニングまではできていないが、送迎時・面談時に保護者のお

話なども聞きながら取り入れられることを取り入れていく)

- ・将来に目を向けた支援を行う

(利用されている児童の保護者は将来に不安を抱えている方が多く、将来ブルーミングを利用したいという方が多い。そのため、実際、作業所で行われている作業に似た作業の練習、事業所見学・体験などを行い少しでも将来につなげられるようにしていく)

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

- ・8月：総合文化センターへ「恐竜博」を見学
- ・隔週土曜日・日曜日 開所日には調理実習、レクリエーション、公園等散歩を行う。
- ・防災センター(四日市北消防署)で防災教室参加

4. クラブ活動

- ・高松海岸掃除・海の生き物探し (8月)

5. 職員研修

- ・嘔吐物処理研修(8月) 交通ルール研修(8月)
- ・車運転研修・送迎マニュアル確認(9月)
- ・事業所危険箇所研修(11月)
- ・社用車事故マニュアル(12月)
- ・外出時の注意研修(1月)

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

- ・高松海岸掃除・海の生き物探し
- ・「社会福祉士実習」で法人に来られた実習生受け入れ(8月・11月)

7. 防災及び感染症対策の実績について

- ・避難訓練 (8月・1月) 防災教室参加(8月)
- ・嘔吐物処理研修(8月)
- ・AED(GHの研修に参加)(6月)

8. 事業所独自の特記事項があればこちらに記載

ヒヤリハット

○車内でのヒヤリハット(児童が興奮される・児童がスイッチを触る等)・・・
5件

○職員による社用車の擦り・他車のドア当て・・・3件

- 社用車から降りた時等の飛び出し…5 件
- 利用予定違い…2 件
- 利用者同士のトラブル(他児が遊んでいた物で遊びたくなった・他児の
声で不調となる)…6 件
- 児童が事業所玄関から入ることが難しくなる…1 件

苦情

【児童より】

- 職員が声かけを行ったところ、児童より「その声のかけ方は良くないので
は？」と声をいただく。(他の児童のことを気にされる児童に対し、
「放っておこう」と伝えたところ、その「放っておこう」という言い方
はよくない言い方では？と児童より声をいただく。)

【児童保護者より】

- 空き缶つぶしの作業を行うため、職員に空き缶を持って来てもらったが、
その中にアルコールの空き缶が入っており、それを目にした保護者より、
「子供の事業所にアルコールの缶があることは？」と声をいただく。
- 利用料以外のもの(おやつ代・ガソリン代など)重要事項に定められてい
る、保護者より徴収する金額が高いのではないか？

【他事業所より】

- 上限管理事業所から当該児童の請求明細書が送られていない。:2 回

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 四日市福祉会 ブルーミング・コフレ		
○保護者評価実施期間	令和7年1月 15日		～ 令和7年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和6年12月10日		～ 令和7年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者と面談の機会を設け、保護者のお話を聞かせていただく機会を設けている。	・年に1度しか行えていないが、希望される保護者と面談等を行い、ご意見等いただく機会を設けている。	・利用開始時期にもよるが、全ての保護者に「保護者との面談」の機会の説明が行えていないため、保護者にも伝えていく。
2	法人には放課後等デイサービス以外にも通所支援の事業所・施設入所支援・グループホームの事業所があり、学校卒業以降の支援にもつなげていくことができる。	・通所支援事業所の見学や実際の体験などを行い、事業所の雰囲気を知ってもらう。 ・通所支援事業所で行われている作業に近い、作業を取り入れ、少しずつ作業練習を行っている。	・引き続き、事業所の見学、体験などを行い、体験を行っていく。
3	事業所内だけではなく、状況によって法人にある空きスペース、グラウンド近くにある地域の公園等を活用することができる。	・そのときの児童の状況によって、屋外で気分転換を行ったり、少しでも落ち着けられる環境に移動してもらうことができる。	・引き続き、児童たちが落ち着ける環境や場所を見つけていき、少しでも穏やかに過ごしていただけるように心がける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に対し、事業所の活動内容を伝えられていない。	口頭で伝えているのみで、希望される保護者には送迎時に写真を送る等しか伝えられていない部分があり、全ての保護者に活動内容が伝えられていない。	・広報・メール等発進するツールを見直し、事業所の活動内容を伝えていく。
2	保護者に対し、事業計画、安全計画、各種マニュアル等の配布ができていない	年度ごとの事業計画、安全計画、各種マニュアルを作成しているが、が保護者に配布できていないため、保護者にも伝えられていない	・年度初めに保護者に事業計画・安全計画・各種マニュアルを配布し、説明等を行っていく。
3	バリアフリー面で玄関の段差が解消できていない。	階段の段差の解消ができていない。	・段差が解消できそうな設備等を検討していく。

令和6年度 相談支援事業所 ブルーム

事業報告

1. 事業内容・定員

(令和7年3月31日 現在)

指定特定・障害児相談支援事業

障害者(児)の自立した生活を支え、障害者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントにより細かく支援する。サービス等利用計画の作成やモニタリングの実施。

指定地域移行・地域定着支援

(移行)入所施設や精神科病院から退所、退院され地域生活に移行する際の相談、その他必要な支援を行う。

(定着)居宅で単身等で生活する障害者の地域生活を継続するために常時の連絡体制の確保と緊急時の支援をする。

障害者相談支援事業

障害者やその家族等からの様々な相談に応じて、必要な情報の提供、助言を行う。

基幹相談支援事業

地域における相談支援の中核的な役割を担う。特に、四日市圏域の相談支援体制の強化を図るための取組を実施する。

障害支援区分認定調査

障害支援区分認定に係る調査を自宅または入所施設等を訪問して実施する。

(年間/延べ)

	請求件数		相談件数	
		前年比		前年比
指定特定・障害児相談支援	515 件	105%	2759 件	100%
指定地域移行・地域定着支援	15 件	125%	-	-
障害者相談支援	-	-	2410 件	110%
基幹相談支援	-	-	-	-
障害支援区分認定調査	117 件	139%	-	-

2. 基本方針と総括

令和6年度より「基幹相談支援事業」を受託することとなり、障害者相談支援事業と合わせてブルームの中心事業となった。個別の相談だけでなく地域づくりが役割として位置づけられた。個別の相談は、前年度よりも増加しており相談内容も多岐に渡ることから幅広い専門知識が求められている。同時に、相談支援として取り組めることは何かを職員間で確認し合いながら、支援内容の整理と関係機関へのつなぎを行い、相談員が1人で抱え込まないような体制づくりに努めた。地域づくりは、主に四日市圏域の相談支援体制の強化を図るべく、相談支援専門員への助言や事業所同士のネットワークの構築などの企画を実施した。

3. 年間行事(旅行、外出等)実績

4. クラブ活動

5. 職員研修

相談支援

相談支援従事者指導者養成研修、日知協相談支援・就業支援セミナー、四日市市重層的相談支援研修、地域包括ケア研修、県相談支援従事者現任者研修、四日市圏域相談支援研修会

虐待防止・権利擁護

障害者差別解消法、県障がい者虐待防止権利擁護研修、成年後見制度説明会

障害

発達障害・不登校児研修、強度行動障害研修、行動障害への対応法研修、三重県障害者理解促進事業研修

その他

医療的ケア地域ネットワーク連携研修会、e-ケアネットよっかいち講演会、北勢きらら学園1日体験研修、

6. 地域活動およびボランティア、実習生の受け入れ実績

地域活動およびボランティア

- ・地域の相談支援専門員への助言・支援
(社会資源の情報提供、報酬改定の説明、補助金の申請方法など)
- ・研修の開催
(スクールソーシャルワーカーとは、子どもが主体であること、事例検討会、地域包括ケア研修会)
- ・相談支援専門員同士のネットワークづくり(障害児相談支援事業所連絡会の開催)
- ・相談支援専門員向けのガイドブックの作成、発行
- ・よんてつへのボランティア派遣、額突山市民緑地まつりボランティア派遣

実習生の受け入れ

- ・社会福祉士実習指導 3名 延べ5日間

7. 防災及び感染症対策の実績について

防災

- ・法人災害委員会(4回)、避難訓練(2回)、伝達訓練(1回)、BCP訓練(1回)

感染症対策

- ・法人感染対策委員会(4回)、事業所内研修(2回)、職員への感染対策に係る啓発、